

館長のガラストーク

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

□◇アールヌーヴォーのガラス

19世紀の終り頃、ヨーロッパ各地でそれまで主流だった過去の歴史様式を模倣するやり方を打ち破る新しい様式が起ってきます。その主な特徴は日本美術に影響されたつる草のようにうねる曲線模様と、虹のように輝く色彩です。

◇エミール・ガレの場合

エミール・ガレは若い頃から新しいデザインを模索しました。1885年に表面的なエナメル彩から素地自体の着色に進み、1889年のパリ万博には多彩な色ガラスを出品しました。この時期、ガレはピュルグン・シュペーラー商会などフランス各地の工場に外注していました。これらの工場はすべてウラン着色を行っていたので、この時期の作品にはウランガラスも若干含まれています。1894年に自社工場を構えると色彩は一層華やかになり、また、作品に生々しい彫刻的效果が加わるようになります。当館の1階常設展示室にある「花蝶文花器」はこの頃の作品です。1900年のパリ万博には大量のガラス作品や家具を出品し、両部門でグランプリを獲得して世界的な名声を勝ち取ります。

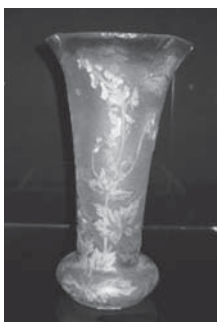
◇ボヘミアのアールヌーヴォー

ガレの流れるような植物文様やティファニーの七色に輝く虹彩の影響は、19世紀末のボヘミアに素早く伝わっています。南ボヘミアのレッツ工房は1870年代から虹彩ガラスに取り組み、ガラス器の表面に虹のような輝きを生む“現象”の技術を開発しました。1900年のパリ万博ではエミール・ガレ、ルイス・ティファニーと共にグランプリを獲得しています。このレッツ工房でもウランガラスが作られています。

ピュルグン・シュペーラー商会
花文耳付花器 1895～1903年



エミール・ガレ
花蝶文花器 1894年頃



エミール・ガレ
1903年頃
ワイングラス



〈展覧会情報〉きらめきのウランガラス—その源流を尋ねて— 2015年7月15日(水)～2015年12月7日(月)
〈記念品情報〉今年の4月に、開館10周年を記念して限定50個発売した「煌-Fairy Green」は完売いたしました。ありがとうございました。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

岡山県立博物館特別展 発掘された日本列島2015

近年国内で発掘調査された注目の遺跡の出土遺物を展示します。鏡野町からも久田原遺跡・久田堀ノ内遺跡の縄文時代の遺物を出展しています。

場 所：岡山県立博物館（岡山市北区後楽園1-5）
期 間：11月13日(金)～12月23日(水・祝)
休館日：月曜日
時 間：午前9時30分～午後5時
入館料：大人650円、高校生200円、小人180円、65歳以上320円
問合せ：岡山県立博物館（TEL086-272-1149）

徳島県立博物館企画展 阿波木偶箱まわりの世界 —門付け、大道芸—

各地で行われていた人形芝居の資料を展示します。鏡野町からも新森原で使用された人形芝居道具（町指定文化財）も出展しています。

場 所：徳島県立博物館（徳島市八万町向寺山）
期 間：10月31日(土)～11月29日(日)
休館日：月曜日
時 間：午前9時30分～午後5時
入館料：大人200円、高校・大学生100円、小中学生50円
問合せ：徳島県立博物館（TEL088-668-3636）

鏡野郷土博物館企画展 「鏡野の戦時資料」

鏡野郷土博物館では、現在企画展を開催しています。是非ご来館ください。



燕岳号尾輪

テーマ：「鏡野の戦時資料」
内 容：町が所蔵する戦時関係資料の展示
燕岳号尾輪・教育勅語・公文書・雑誌・軍事郵便ほか約50点
場 所：苫田郡鏡野町竹田663-7
ペスタロッツ館2階
期 間：平成27年9月18日(金)～平成28年3月31日(木)まで
休館日：月曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）
時 間：午前9時～午後5時
入館料：無料
問合せ：生涯学習課 担当・日下（TEL54-7722）